

小さくても大事なこと

7月30日（土）の準備のため、支援予定地へ向かいました。ほとんどの人は初めて現地に行くので、当日支援を行う場所を覚え、現地の状況を確認するためです。どこのお宅がどんなことをしてほしいかという要望リストがあったため、そのリストを確認しながら当日作業する人数の割り当てや道具、注意すべき点を考えながら回りました。また、ほとんどのお宅は留守でしたが、家人が在宅されているお宅も何件かあったので、あいさつを兼ねて支援当日やってほしいと思っていることの確認を行いました。当日の主な作業は泥だしと草刈りです。草刈り

と聞くと「それって支援？」と思うかもしれませんが、畑などの土地が多かったためか、かなり広範囲に雑草が生えていたうえ、瓦礫が雑草で隠れてしまったため、草刈り中に怪我をしてしまう人もいます。また、季節が夏になり蚊を中心に虫が大量発生していることに加え、高齢者が多いため自分で草刈りをしていたら腰を痛めてしまったという人もいました。



↑大きく成長した雑草軍

のどこに見えるかもしれませんが現地の人にとっては切実な問題です。



事務所に戻ってからは当日の支援者数や事務教員の人数の確認、必要物品や現状を確認したうえで人員配置についての検討を行いました。明日から週末にかけて、徐々に先発隊の方が到着するので、到着次第、現状を把握してもらい、被災者の手助けができるよう詳細を詰めていきます。

←7月30日（土）に支援の行う民家の一つ。震災当時、どこまで水に浸かったかが今でもはっきり分かる。